

アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観

(北海道平取町)



アイヌ文様を中心に、伝統的な信仰・世界観を感じとることができる貴重な伝承地である、ウカエロシキ（ウ=互い、カ=上、エ=そこに、ロシキ=立つ）、通称・熊の姿岩を左上にデザインしました。



アイヌに生活文化を教えたとされる
オキクルミカムイの伝承が残るウカエロシキ



チセ(伝統的な家屋)が見られる景観

一関本寺の農村景観

(岩手県一関市)



本寺地区を象徴する慈恵塚からの眺望（不整形な小区画水田、イグネと呼ばれる屋敷林に囲まれた民家）をもとに図案化しました。



慈恵塚からの眺め

最上川上流域における長井の町場景観

(山形県長井市)



重要文化的景観の構成要素（葉山連山、最上川、野川、宮・小出地区、平野地区の屋敷林）を配し、色は長井に伝わる伝統的な祭り・黒獅子の幕をイメージした紺色としました。



黒獅子祭り

利根川・渡良瀬川合流域の水場景観

(群馬県板倉町)



町内を流れる3つの河川（利根川、渡良瀬川、谷田川）を曲線で表し、水文化を代表する揚舟、谷田川の柳山、国指定重要文化財である雷電神社末社を配置しました。色は、水を表す水色にしました。



谷田川の柳山と揚舟



雷電神社末社

葛飾柴又の文化的景観

(東京都葛飾区)



葛飾柴又の象徴である「帝釈天」を配置し、江戸川や旧水路などの自然を表現しました。色は葛飾と川をイメージして青色としました。



柴又帝釈天題経寺



葛飾区のロゴ(青色)

大沢・上大沢の間垣集落景観

(石川県輪島市)



海からの強い季節風から家々を守るために竹を組んで作られた「間垣」を配し、色を輪島市のイメージ色（グリーン）としました。



上大沢の間垣



輪島市市章(色:グリーン、ブルー)

大溝の水辺景観

(滋賀県高島市)



高島市の重要文化的景観に共通する「水」を中心の曲線で表し、「大溝の水辺景観」では中央の水を琵琶湖および乙女ヶ池に見立て、傍に位置する大溝城跡の石垣を図案化したものを配置しました。色は、水を表す水色にしました。



乙女ヶ池



大溝城跡

日根莊大木の農村景観

(大阪府泉佐野市)



大木の農村景観を一望できる風景を生かしてそのまま写実的に表現し、色は、大木の田園風景やその農村を囲む山々のイメージである緑色を基調としました。



智頭の林業景観

(鳥取県智頭町)



「林業の町 智頭」を象徴する美林が、苗木を植え育ててきた結果であり、智頭の人たちを支えてきたことをイメージしたものです。



樹齢 350 年以上のスギ人工林「慶長杉」

奥出雲たら製鉄及び棚田の文化的景観

(島根県奥出雲町)



重要文化的景観の歴史的背景である「たら製鉄（ピクトグラム）」を配し、色を奥出雲町のイメージ色（グリーン）としました。



燃え上がるたら製鉄



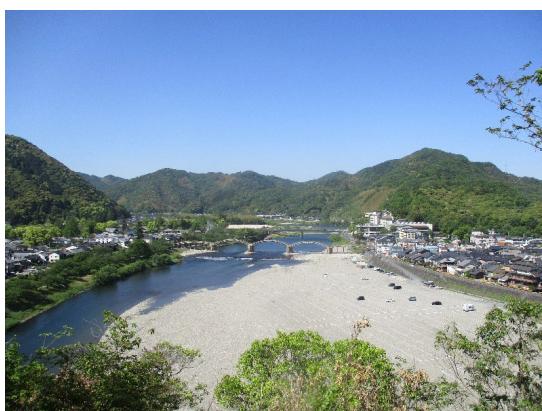
奥出雲町の町章(色:グリーン)

錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観

(山口県岩国市)



大きく蛇行して流れる錦川、両岸に拓かれた城下町の暮らし、二つの城下町を繋ぎ多くの来訪者を迎えてきた錦帯橋とその背後の山々を表現しました。色は清流錦川をイメージした水色としました。



錦川両岸の城下町とそれをつなぐ錦帯橋



近世に土産物に描かれ錦帯橋

平戸島の文化的景観

(長崎県平戸市)



「かくれキリシタン」のご神体の図案と聖地安満岳の麓に広がる棚田を配置。信仰生活を支えた棚田は、単なる生業の場ではなく、伝統文化を継承していくために欠かせない重要な要素です。



安満岳の麓に広がる春日の棚田(撮影:日暮雄一)



「お札」と呼ばれるかくれキリシタンのご神体

佐世保市黒島の文化的景観

(長崎県佐世保市)



海から内陸に向かって広がる防風林や畠の向こうに建つ島のシンボル、黒島天主堂。それらをアコウの木が包み守る様子を表現しています。赤茶色は島の赤土や教会の煉瓦をイメージしています。



アコウの防風林と石垣



黒島のシンボル、黒島天主堂

長崎市外海の石積集落景観

(長崎県長崎市)



石積で造られたネリベイ（石壁）家屋の窓から見える、急斜面の地形と角力灘といった長崎市外海の景観の特徴を表現し、色は結晶片岩の色味をイメージし赤褐色としました。



石積建物



斜面地形



角力灘の夕陽

求菩提の農村景観

(福岡県豊前市)



靈峰「求菩提山」から麓に連なる棚田を図案化し、豊前修驗道で重視される生命力と春の実りを象徴する「松」の常緑の色としました。



求菩提山と裾野に連なる棚田



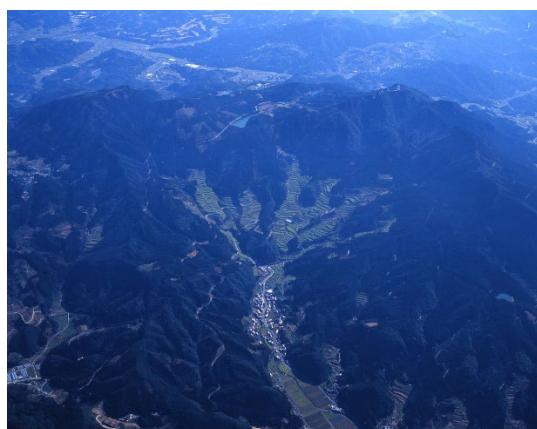
豊州求菩提山絵図 明和元年(1764)

蕨野の棚田

(佐賀県唐津市)



八幡岳山麓に手のひら状に広がる棚田と棚田米のおにぎりをイメージしてデザインされた、以前から地元で使用されていたシンボルマークを活かしてデザインしました。



手のひら状に広がる蕨野の棚田

通潤用水と白糸台地の棚田景観

(熊本県山都町)



通潤用水のシンボルである通潤橋を下に配置し、上部には水のシンボルとしての橿円とそこから育まれた棚田をモチーフとした柔らかなイメージを組み合わせました。



円形分水（水利権の平等を象徴するもの）



白糸台地南端にある棚田の風景

天草市崎津・今富の文化的景観

(熊本県天草市)



崎津を表現した魚（漁業）と今富を表現した稲（農業）と歴史的に共通する信仰のシンボルである教会によるデザインです。崎津と今富が古くから支え合いながら生活してきたことを表現しています。



崎津の漁村景観



今富の農村景観

田染荘小崎の農村景観

(大分県豊後高田市)



田染荘小崎を象徴する夕日岩屋からの眺望(美しい曲線の水田、背後に広がる里山)をもとに図案化し、それらが調和するという意味で、両者の中間にあたる緑色にしました。



田染荘小崎の農村景観

(夕日岩屋からの眺望)

緒方川と緒方盆地の農村景観

(大分県豊後大野市)



本景観の特徴でもある約9万年の時をかけて形づくられた原尻の滝と、盆地底に広がる平地に、緒方川から引水し開削した井路（水路）によって開かれた水田で実る稻穂を描きました。



原尻の滝



実りある稻穂